

ながみねやま ひかるじょうやま
長峰山～光城山・聖山 山行報告

【北アルプス前衛】

【ルート】長峰山・聖山

【登山方法】雪山登山

【日程】2020年1月18日（土）～19日（日）

【参加者】CL 室昌 鈴木憲 清野 鈴木愛

【行程】

○1月18日（土） 長峰山

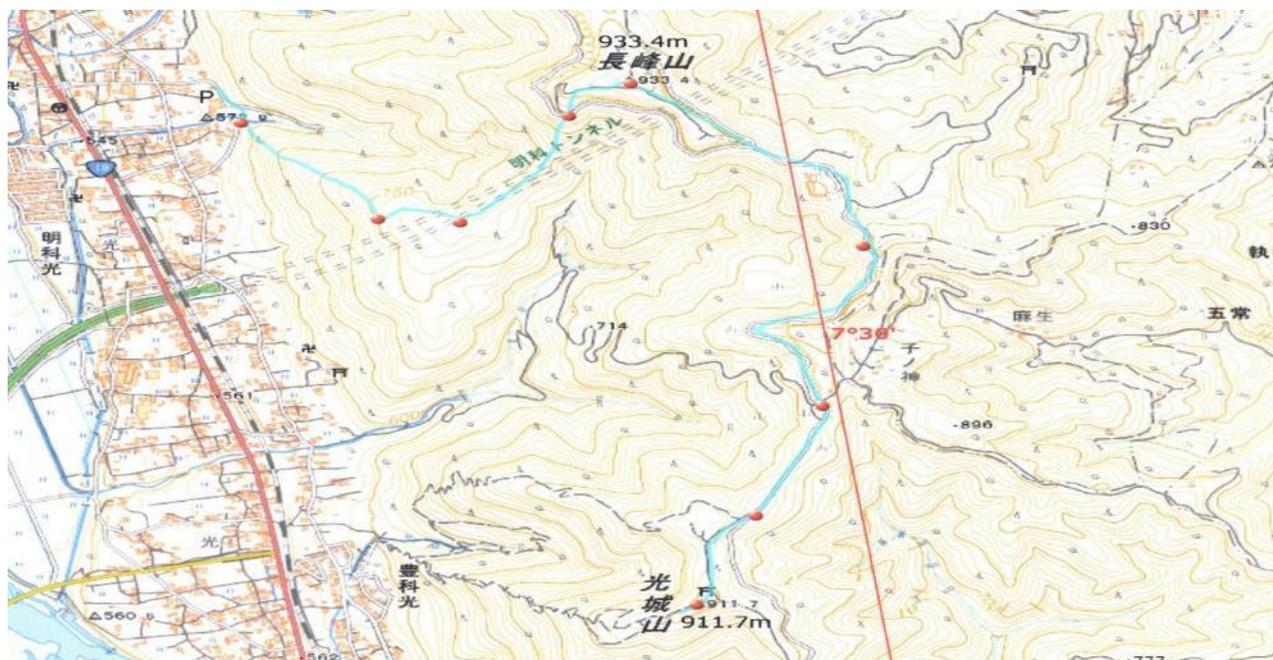
千葉 5:50⇒中央道⇒安曇野 IC⇒長峰山登山口 10:15 発⇒11:20 長峰山頂上 11:35⇒12:15 光城山 12:30
⇒往路をピストンする⇒長峰山登山口着 13:55⇒ホテルアンビエント安曇野（泊）

○1月19日（日） 聖山

ホテルアンビエント安曇野⇒三和峠登山口 10:30 登山開始⇒11:40 聖山頂上 12:05⇒往路をピストン
する⇒三和峠 12:45 着⇒上信越道⇒帰葉

【記録】

○1月18日（土） 長峰山～光城山 天気 曇り



長峰山～光城山は昨年の4月、Tさん CL他6名の皆さんと桜を見に登った山である。桜がとても綺麗だったこと、山頂からは北アルプスと安曇野の田園風景が一望でき、美しかったことを思い出しながら歩き始める。

登山口は全然雪がない。千葉を出発前にMさんが送ってくれた長峰山の霧氷の景色がとても美しかったので、そのうち雪道が現れるだろうという期待感を持ちながら歩く。最初から急坂の九十九折りになっている登山道を進む。20分位歩くと、道が緩やかになる。

歩き始めからずーっと桜の時より倒木が多かった。途中で出会ったイノシシと鹿の駆除作業を行っている方々に倒木の事を聞いてみると、「昨秋の台風の被害と病害です」と言っていた。たくさんの倒木を見ると悲しくなる。

歩き始め間もなくから光城山まで、ずーっと登山道の両側の葉を落とした木に薄黄緑色の山蕨があちこちについていた。可愛くて綺麗な色であった。Sさんが宿で調べて教えてくれた。「ウスタビガ」の

繭との事。Mさんから教わった事は、一般的な絹は養蚕者が家内で蚕を飼って作られる絹のことで、それ以外の山野で野生植物の葉を食べて成長した蚕の繭からとった絹を野蚕絹と言う由。今では日本では野蚕絹で作られる着物は日本製の野蚕絹は少なく、インド製の野蚕絹を使って作られる着物が多いそうである。野蚕絹で作られる着物はとても高価な由であった。SさんとMさんに教わったことは知らなかった事なので勉強になった。

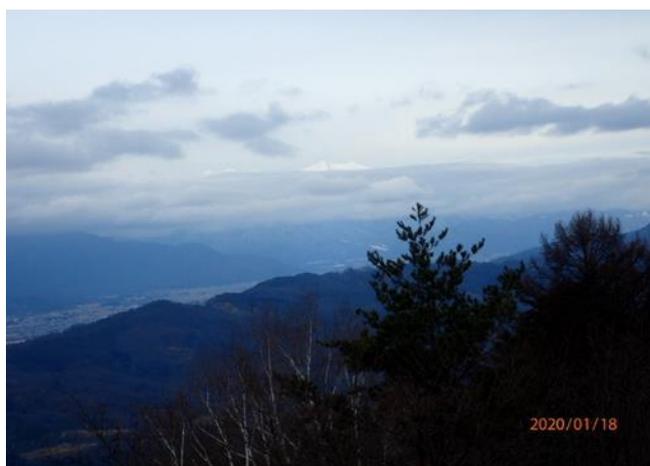


長峰山登山口にて さあ 出発！



薄黄緑色の山繭

そして長峰山頂上着 11:20。頂上にも雪はなく残念だった。頂上からの眺めは、雲の間にかすかに北アルプスが見えたが、今一つであった。



長峰山頂上からの鹿島槍ヶ岳



長峰山頂上にて

更に歩を進め、光城山を目指す。光城山迄の間も、あちこちに綺麗な薄黄緑色の山繭が木についていた。そして光城山頂上着 12:15。神社があり、今年の登山の無事を祈り合掌する。

少し天気が良くなり、北アルプスの峰々のはっきり綺麗に見え、嬉しくなる。雪を一杯まとった鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳、白馬岳、常念岳、蝶ヶ岳等々が見えた。

そして往路を辿り、長峰山登山口着 13:55。



光城山より長峰山に向かう登山道



長峰山頂上にて



光城山の頂上の休憩所の前にて



光城山の頂上の休憩所の前にて

○1月19日(日) 聖山 天気 曇り時々晴れ

聖山の麓の三和峠を目指し、ホテルアンビエント安曇野を9:00頃出発する。



ホテルの廊下からの大滝山と蝶ヶ岳



聖山の登山口の三和峠にて さあ 出発!

三和峠の登山口着 10:00

準備をして10:30登山開始。歩き始めから雪があり嬉しくなる。昨日降ったであろう雪がすっかり葉を落とした広葉樹につき、素敵な霧氷となっていてますます嬉しくなる。ずーっと素敵な霧氷の中を歩いて聖山の頂上着11:40。頂上は360度の眺望の場所であったが、雲が邪魔をして見える山と見えない山があった。鹿島槍ヶ岳、爺ヶ岳、白馬岳、常念岳、蝶ヶ岳、八ヶ岳、浅間山の中腹から下等々が見えた。槍穂高は雲の中であった。



聖山の登山道にて（歩き始めて間もない頃）



聖山の山頂からの霧氷



聖山山頂にて



聖山山頂からの鹿島槍ヶ岳

出発の時、登山口で会った地元の12~13人のパーティーの方たちが先に出発し、私達が途中で追い抜き、頂上で私達が休憩をしている時に登ってきてまた会った。

そしたらそのパーティーの方が「今年初のふきのとうの天ぷらをどうぞ」と私達にご馳走してくれた。長野県で、もうふきのとうが採れたんだ、こんなに早く採れたなんて、これも地球温暖化が進んでいるからかなと思ひながら頂く。今年初のふきのとうの天ぷらの味は、早春の香りがして美味しく格別であった。

あまりにも素晴らしい眺望だったし、風もなく、すごく寒い状況でもなかったので、頂上で25分も休憩をしてしまった。

往路をピストンし、三和峠の登山口着 12:45。そして上信越道経由で帰葉。

○今回の山行を終えての感想

長峰山も聖山も雪があるだろうと期待したが、長峰山は全然雪はなかった。それだけに聖山で歩き始めから最後まで、ずーっと雪の上を歩けたことがとても嬉しかった。歩き始めの時間が10:30で登山道が凍っていないくて、凄いい急坂もなく、アイゼンをつけなくても大丈夫であり良かった。

私にとって今季初の雪山ハイクを十分楽しめた山行であった。ご一緒した皆さん、お世話になり有難うございました。